

「学び」の環境がここにあります

学校沿革

明治30年4月 ● 茨城県尋常中学校下妻分校

33年4月 ● 茨城県下妻中学校

昭和23年4月 ● 茨城県立下妻高等学校

24年4月 ● 茨城県立下妻第一高等学校

平成 9年4月 ● 創立百周年

29年4月 ● 創立百二十周年



令和4年度 茨城県立下妻第一高等学校附属中学校開校 (中高一貫教育校)

文武不岐 ～人間力を磨く～

本校は、学習と部活動との両立を積極的に推奨しています。高校時代は何でも吸収できる感受性豊かな時期です。友と一緒に目標に向かって取り組む経験を通して、達成感や感動を味わうとともに、忍耐力や協調性などの人間力を磨きましょう。



生徒会長 3年 小林 颯音 (桃山学園出身)

本校に入学を希望される皆さんへ

この下妻一高は、「文武不岐」をモットーとしています。すなわち、下妻一高には「好きなだけ勉学に励むことができる」「やりたい部活動をとことんまで突き詰められる」という2つの環境が整っています。

水海道一高との運動部対抗戦である定期戦では、現在11連勝を記録し、各部活動が優秀な成績を収めています。一方勉学でも多くの先輩方が希望する大学に進学することができています。

下妻一高には生徒ひとりひとりに親身に寄り添い、全力でサポートして下さる先生方がたくさんいらっしゃいます。さらに、共に入学した同級生は、お互いを高め合い、切磋琢磨していける最高の友になります。ぜひ、この下妻一高に入学して充実した高校生活を送るとともに、自分の夢を叶えてください。

在校生一同、皆さんのご入学を心よりお待ちしております。

【為桜学園】



(上記マークは中村不折作)

『為桜学園の名は学園の春を飾る桜花にちなみ、藤田東湖作「文天祥正気の歌に和す」の一節「発いては万朶の桜と為る」よりとられたもので、本校草創期の理念として明治34年に体育会を為桜会と命名して以来、脈々と本校に継承されてきました。本校の桜も、老木の数こそめっきり少なくなりましたが、爛漫、その清潔の品、花王の格は古くから本校の象徴とするところであり、「為桜」は衆芳を抜かんとする生徒の心意気「為桜魂」を示すものです。

左のマークは、明治39年、長塚節の紹介で、洋画家・書家として知られる中村不折が作図したもので、現在も本校のシンボルマークとして広く使用されています。〔「為桜」を囲んで「不二の嶽」「大瀧の水」「万朶の桜」が「百鍊の鉄」の刀の鏢の中に見事に配されています。〕



- つ 強さ
- ま 真面目さが光る
- い インターナショナルな感覚をもった
- ち 知的集団

学校教育目標

- 「文武不岐」実践のもと、知・徳・体を兼ね備えた人間性豊かな人材を育成する
- 地域創生の担い手となり、国際社会の発展に貢献するリーダーシップをもった人材を育成する

「様々なことに挑戦でき、自己の可能性を広げられる学校」

Page 4

教育課程（授業を大切に）

- ・主体的、対話的で深い学びの実践
- ・小さな積み重ねを大きな力に
 - 朝の小テスト（週3日）
 - 単元テストの実施

Page 5

光プロジェクト

- ・探究活動の実践
- ・将来を見据えた体験学習
 - 医学部進学支援
 - 教育学部支援など

Page 6/7

文武不岐の実践

- 20年連続 国公立大学 100名以上合格
私立大学 多数合格
- 令和3年度 関東大会出場 陸上競技・女子バスケットボール・男子卓球
男子バドミントン・男子剣道・水泳
全国大会出場 陸上競技・女子バスケットボール・囲碁将棋・写真

Page 8/9

学校行事が充実

- ・生徒会主体の計画と運営
- ・本校ならではの行事 定期戦

Page 10/11

部活動が充実

- ・加入率90%以上
- ・15の運動部と21の文化部から
やりたいことが見つかる